

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-18912

⑬ Int. Cl.

B 60 G 17/00
15/06
F 16 F 9/32

識別記号

庁内整理番号

8009-3D
8009-3D
7369-3J

⑭ 公開 昭和61年(1986)2月3日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 自動車の油圧式車高調整装置

⑯ 実 願 昭59-103589

⑰ 出 願 昭59(1984)7月9日

⑱ 考 案 者 森 永 鎮 太田市東長岡269
⑲ 考 案 者 黒 川 亮 悟 群馬県邑楽郡大泉町上小泉2014-13
⑳ 考 案 者 今 福 芳 夫 太田市長手390-5
㉑ 考 案 者 島 田 英 男 太田市下小林218-3-6
㉒ 出 願 人 富士重工業株式会社 東京都新宿区西新宿1丁目7番2号
㉓ 代 理 人 弁理士 清 瀬 三 郎 外1名

⑳ 実用新案登録請求の範囲

(1) 下部を車輪支持部材に結合したシリンダ部材と、該シリンダ部材に摺動可能に嵌装され上部をトップマウント部材を介して車体部材に弾性的に結合したロッドと、該シリンダ部材とロッドとの間に設けられた圧縮コイルスプリングとからなるコイルスプリング式ストラット型車輪懸架装置において、上記圧縮コイルスプリングの上端部を支持するアッパスプリングシートをロッドに上下摺動可能に嵌装し、内部にプランジャを嵌装した油圧シリンダをロッドの上部に固着し、該プランジャの下端面がベアリングを介してアッパスプリングシートの上面を支持した構造とし、該油圧シリンダの油室内への油の給排手段を設けると共に、油圧シリンダ内に固着されプランジャの下降限界位置を規制するストツパリングに上記プランジャの回転を拘止す

る廻り止め手段を構成したことを特徴とする自動車の油圧式車高調整装置。

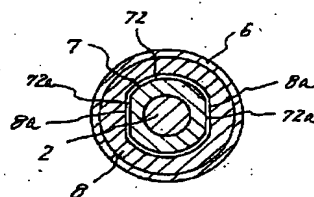
(2) 油圧シリンダは、ロッドに固着された内筒と車体部材に固着された外筒と該内筒と外筒との間に接合固着された弾性材とからなるトップマウント部材の上記内筒内に嵌装された状態でロッドに固着されていることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項に記載の自動車の油圧式車高調整装置。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の実施例を示す縦断正面図、第2図は第1図のA-A断面図である。

1…シリンダ部材、2…ロッド、3…トップマウント部材、4…コイルスプリング、5…アッパスプリングシート、6…油圧シリンダ、7…プランジャ、8…ストツパリング。

第2図



第1図

